

大船渡学2022概要

<教育目標と大船渡学～大船渡学で得られる力・姿勢>

- 真理を求め、自ら主体的に学ぶ姿勢をもつ青年の育成
 - ⇒自分が本当に学びたいものを見つけ、それを自律的に深め続けられる姿勢がある
 - ⇒真理を探究するための基本的な技術を獲得し、様々な事象を論理的に構造化する力を持つ
- 互いに個性を尊重し、敬愛する心をもつ青年の育成
 - ⇒さまざまなちがいが、視点を大切にし、それを組み合わせることで新しい知をつくることができる
 - ⇒他者との学びを大切にし、多様な対話の中から新しい知を生み出すことはできる。
- 心身の調和がとれ、強くたくましい精神力と体力をもつ青年の育成
 - ⇒前向きに楽しく学び、そしてそれを行動に移すことができる
 - ⇒社会の事象に対して当事者性を持って対峙し、よりよい未来を創るという意味を持つ

<2022年度のポイント>

- ・「自走力」をより高める
- ・探究テーマの掘り下げ力を高める
- ・上記のために、ピアサポートや異学年の力、教員のサポートの仕組みをつくる

<2022年度の実施イメージ>

【前期:4月～9月上旬】

○テーマ:

- ・先輩の背中から得る「探究の勘所」

○求めるアクション:

- ・7月・8月で2年生が「Learning Zone」「Growth Zone」で自分の探究テーマを深める場を構築し、1年生はそこに主体的に参加する。※1年生2名、2年生2名の4名のチームを構築※できれば2年生は文理を分けて（実際のアクションは、1年生と2年生のペア(2名)×2アクションを基本とするが、4名で合同で行ってもよい※4名チームはあくまで進捗確認や相談のためのチーム）
- (例)・2年生が行う外部とつながるアカデミックなワークショップ・勉強会に1年生も参加する
 - ・2年生がリーダー、1年生がスタッフとして地域課題を解決するアクションを行う
 - ・1・2年生が一緒に2年生の探究テーマを深める外部研修会・ワークショップに参加する

○到達点

- ・2年生:自分の探究テーマがより深まり、地域や世界との接続が具体化され、学ぶ意味を掘り下げられている。
- ・1年生:2年生の探究テーマの掘り下げがロールモデルとなり、自分なりの「大船渡学との向き合い方」がイメージできるとともに、自分の探究テーマのイメージが具体化している。

【後期:9月下旬～2月】 ※学年別に実施

<1年生>

○テーマ:

- ・自分の探究テーマを使って、友達・家族以外の誰かをより幸せにしてくる

○求めるアクション:

- ・1月までの間で、自分の探究テーマを掘り下げ、何らかの課題を解決する、学びあう・わかりあう環境をつくる等、「Learning Zone」「Growth Zone」で誰かの生活や人生が1mmでも前向きになるようなアクションを行う。

○到達点

- ・自分が学ぶことが具体化され、学ぶことが地域や世界とどのようなつながりがあるかをイメージできるようになる
- ・自分が行動を起こすことに対する自己効力感が高まる

<2年生>

○テーマ:

- ・自分の探究テーマにおける「未知」を明らかにし、その未知へアプローチする

○求めるアクション:

- ・複数の文献から自分が学びたいこと・深めたいことに対する未知を見つけ、その未知に対して、Learning Zone、Growth Zone でアプローチしてみる

○到達点

- ・自分の探究テーマを学術的に深める視点が身に着くとともに、「研究する」ということ具体的なイメージが共有される
- ・自分が次のキャリアで深めたい分野を深めるための基礎体力がつく
- ⇒この学びをもとに、2年生～3年生につながる春休みで志望理由書を作成

【夏の陣 7月下旬】

○到達点

- ・未知と対峙するということはどういうことかを徹底的に話す・考える
- ・学ぶとは、働くとは を考える
- ・伝える・共有する視点を身に付ける

○内容

1日目:ソクラテスマーティングDAY

社会人と一緒に「学ぶ・働く」の意味を考える哲学対話

2日目:探究ゼミ～「未知」へのアプローチを考える～

各教員が、自分の専門分野に関する「未知」を提示し、その未知に対して高校生と一緒に考えるワークショップを実践

3日目:ワークショップ準備

これまでのチームで、自分達の探究テーマにおける「未知」を考えるワークショップの準備

- ・今回、みんなと考えたい未知なる（答えのない）「問い」とは
- ・この問いに関する背景とは（先行研究やこれまでの取り組み等、既存の情報の共有）
- ・この問いを深めることはどのような意味があるのか（社会的・学問的等、問いの性質にあわせて）

⇒これらの共有と、実際に問いを深めるためのワークを実施

（個人ワーク・グループワーク等の選択を含め、どのような設計にするかは自由）

4日目:ワークショップDAY①

1チーム30分 × 6ターン の「未知」を考えるワークショップ実施

5日目:ワークショップDAY②

1チーム30分 × 2ターン の「未知」を考えるワークショップ実施

全体ふりかえり

2022年度大船渡学 スケジュール(案)

	1年生	2年生
4/21	オリエンテーション「大船渡学とは」	オリエンテーション「2年生の探究とは」
4/28	合同① チームでの顔合わせ・チームビルディング	
5/12	合同② 2年生の探究テーマプレゼン・共有・問い出し	
5/19	合同③ 夏休みに向けた仮説設定ワーク・文献調査の割り当て※1人2冊	
5/26	これまでのふりかえり・探究テーマ文献調査	
6/2		探究テーマ文献調査
6/16	合同④ 文献調査内容の共有(ロイロで概要提出)・さらなる問いの深化	
6/30	合同⑤ 夏休みのアクションに向けた準備 ⇒ アクションのエントリー	
7/14	合同⑥ 大船渡学夏の陣 事前レクチャー&準備	
夏休み期間:2年生が「Learning Zone」「Growth Zone」で自分の探究テーマを深める場を構築し、1年生はそこに主体的に参加する。		
8/25	合同⑦ 夏休みのアクションふりかえり	
9/1	合同⑧ 夏休みのアクション共有大会 ⇒ここまでが前半戦	
9/29	後半戦オリエンテーション(文献の使い方)	後半戦オリエンテーション(文献選択)
10/20	文献共有ワークショップ①	文献共有ワークショップ
10/27		冬のアクションに向けた準備
11/17		冬のアクションに向けた準備
11/24	合同⑨ 冬の陣に向けた事前オリエンテーション&これまでの進捗状況の確認	
12/1	冬のアクションに向けた準備	
12/8	冬のアクションに向けた準備	
冬期間	夏休みの経験をもとに、今度は自分で「Learning Zone」「Growth Zone」での学びの場を創ってみる	「Learning Zone」「Growth Zone」で「未知」に対して、論理的なアプローチをする ※根拠を持ったアプローチ
1/12	冬のアクションのふりかえり&3月の成果共有へ	冬のアクションのふりかえり&3月の成果共有へ
1/19		
2/2	春休みのさらなる探究活動に向けた導入	これまでの探究と志望理由書をつなげる
3/9	この2日間はうまく授業時間をつなげながら、各学年の成果共有 & ふりかえりを実施	
3/16	※2~3コマ連続での実施を希望	

※進捗状況により、内容は変更する場合があります。